

## 「フリー ファイナンシャル ファンド」 2016年3月31日～4月27日の利回り推移について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。弊社運用の投資信託「フリー ファイナンシャル ファンド」(以下、当ファンド)の運用状況についてご案内いたします。

当ファンドが主な投資対象としている国内短期金融市場は、投資収益の獲得が困難な環境となっており、2016年3月31日～4月27日の期間における1万口当たりの分配額累計額\*は0円となっております(同期間における年換算利回り 0.0000%)。

\*分配金がある場合、毎月の最終営業日に1ヵ月分(前月最終営業日から当月最終営業日前日までの分、課税後)が再投資されます。

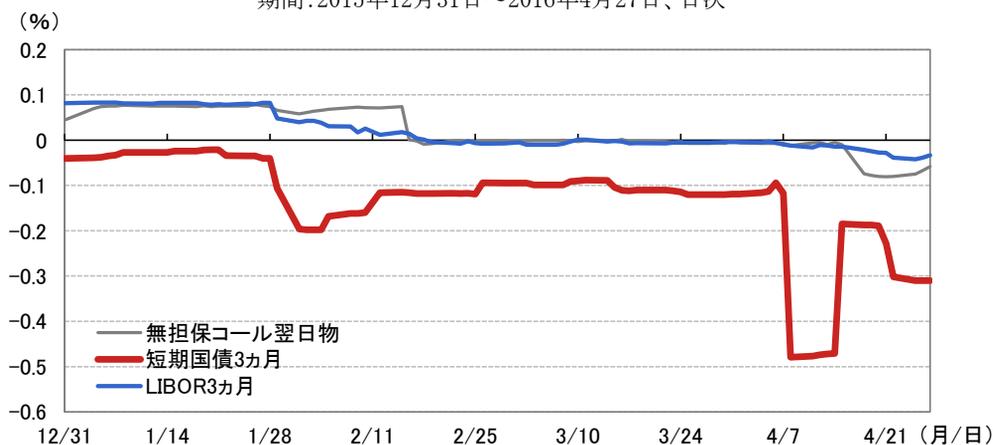
### 【投資環境および投資方針について】

国内短期金融市場では、2016年1月29日の日本銀行による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入発表後、短期国債3ヵ月は、一時、利回りが大きく低下し、続いて金融機関が日本銀行に開設する当座預金の一部にマイナス金利が課せられた2月16日以降、無担保コール翌日物の利回りも大きく低下しました。

また、4月以降、短期国債3ヵ月および無担保コール翌日物の利回りはさらに低下し、マイナス幅を拡大しました。厳しい投資環境ではありますが、短期金融市場の動向に注視しながら、元本の安全性の確保に配慮した運用に努めて参ります。

### 《国内短期金融市場の主要利回りの推移》

期間：2015年12月31日～2016年4月27日、日次



短期国債3ヵ月：ブルームバーグジェネリック

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

当ファンドにおきましては、このような投資環境に鑑み、信託期間を2016年6月30日までとする約款変更ならびに円滑な償還金の支払いを意図した信託報酬の総額に関する約款変更をご案内しております。何卒ご理解を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。